

<b>情報リテラシ</b> <b>(Information Literacy)</b>		<b>1 年・通年・2 単位・必修</b> <b>機械工学科・担当 福岡 寛</b>
〔準学士課程(本科 1-5 年) 学習教育目標〕 (2)	〔システム創成工学教育プログラム 学習・教育目標〕	〔JABEE 基準〕
<b>〔講義の目的〕</b> 本講義は、これから 5 年間の機械工学科での学習およびその後の社会生活において、様々な種類の情報源のうち必要な情報を探し出し、得た情報を正しく評価し活用する能力を身につけるために行われる。このような能力には、情報の発信のためのプレゼンテーションスキルや情報と社会とのかかわりについて自ら考えることができる能力、さらには他者とのコミュニケーションスキルも含まれる。		
<b>〔講義の概要〕</b> 講義は、コンピュータを道具として使いこなせるように基礎的な概念の説明および演習から始める。中学校等で学んだ事との重複もあるかと思うが、系統的に身につけていってほしい。また、ネットの利用や文書作成、表計算においても理工系を学ぶ学生の素養としての側面を重視した講義内容を予定している。		
<b>〔履修上の留意点〕</b> 現在、情報技術は長足の進歩、発展を遂げつつあり、それに伴って社会も常に変化している。本講義で目的とするのは単にその時点での知識の獲得や特定のソフトウェアの操作方法の習得ではなく、そのような変化に対応できる能力の修得である。履修にあたっては、常に本質を考えることを意識して積極的に取り組むことが必要となる。		
<b>〔到達目標〕</b> <b>前期中間試験：</b> 文字入力やネットの利用、ファイル操作ができる。 <b>前期末試験：</b> 文書作成、表計算、プレゼンテーションソフトウェアを利用できる。 <b>後期中間試験：</b> web による情報発信や情報検索ができる。コンピュータネットワークについての概念を説明できる。 <b>学年末試験：</b> 情報とセキュリティ、社会について説明できる。基礎的なプログラミングができる。 ※以上の評価は必ずしも試験によって行われるものではなく、上記の表現は時期の目安である。		
<b>〔評価方法〕</b> 定期試験(60%)、演習課題・小テスト・学習記録(40%)などを総合して評価する。		
<b>〔教科書〕</b> 教科書名：基礎からわかる情報リテラシー、出版社：技術評論社、著者：奥村晴彦  <b>〔補助教材・参考書〕</b> 補助教材：配布プリント		
<b>〔関連科目〕</b> 一般：物理、数学、国語、英語、その他 専門：情報処理Ⅰ（2年）、情報処理Ⅱ（3年）、数値解析（4年）		

## 講義項目・内容

週数	講義項目	講義内容	自己評価*
第 1 週	導入(1)	本講義の導入を行う。	
第 2 週	導入(2)	OS やログイン, ログオフなどについて理解させる。	
第 3 週	文字入力	日本語入力を通じて文字コードや機種依存文字, いわゆる全角・半角文字などを理解させる。	
第 4 週	ネットの利用(1)	電子メールの使い方を修得させる。	
第 5 週	ネットの利用(2)	メールの種類や使い分けについて理解させる。	
第 6 週	ファイル操作	お絵かきソフトの使い方とファイル操作を修得させる。	
第 7 週	文書作成(1)	ワープロソフトを使ったレポート作成の基礎を修得させる。	
第 8 週	文書作成(2)	ワープロソフトのスタイル機能などの利用法を修得させる。	
第 9 週	文書作成(3)	数式など理工系文書の基礎を理解させる。	
第 10 週	表計算(1)	表計算ソフトの概念を理解させる。	
第 11 週	表計算(2)	表計算ソフトの基礎的操作を修得させる。	
第 12 週	プレゼンテーション(1)	プレゼンテーションソフトの概念を理解させる。	
第 13 週	プレゼンテーション(2)	プレゼンテーションソフトの基礎的操作を修得させる。	
第 14 週	プレゼンテーション(3)	相互のプレゼンテーションから良いプレゼンテーション, 悪いプレゼンテーションを理解させる。	
第 15 週	総合演習(1)	これまでの内容をもとに総合演習を行う。	
前期期末試験			
第 16 週	情報発信(1)	web を用いた情報発信法を理解させる。	
第 17 週	情報発信(2)	web を用いた情報発信を修得させる。	
第 18 週	情報検索(1)	身近な話題に関する情報検索を修得させる。	
第 19 週	情報検索(2)	工学的話題に関する情報検索を修得させる。	
第 20 週	情報検索(3)	簡単な英文情報の検索を修得させる。	
第 21 週	情報検索(4)	得られた情報の質の見極め方を理解させる。	
第 22 週	情報とセキュリティ(1)	自己の個人情報の取扱い等について理解させる。	
第 23 週	情報とセキュリティ(2)	他者を含めた個人情報の取扱い等について理解させる。	
第 24 週	情報と社会(1)	知的財産権や著作権について理解させる。	
第 25 週	情報と社会(2)	情報に関する様々な社会現象について理解させる。	
第 26 週	総合演習(2)	第 22~24 週に関する自分の意見のプレゼンテーション	
第 27 週	プログラミング(1)	簡単なプログラムの概念を理解させる。	
第 28 週	プログラミング(2)	基礎的なプログラミングを修得させる。	
第 29 週	プログラミング(3)	機械工学科で必要なプログラミングの基礎を修得させる。	
第 30 週	総合演習(3)	プログラミングに関する演習を行う。	
学年末試験			

\* 4 : 完全に理解した, 3 : ほぼ理解した, 2 : やや理解できた, 1 : ほとんど理解できなかった, 0 : まったく理解できなかった。  
(達成) (達成) (達成) (達成) (達成)